

家庭でできるごみの減量！

☆3つのRでごみの減量にチャレンジ☆

リデュース (Reduce)	★ごみになるものを持ち込まない。 例1：買い物袋を持参し、過剰包装を断る。 例2：食品などは、使いきれ的分だけ購入する。 例3：ばら売りや量り売りを利用する。 例4：繰り返し使用できるリターナブル容器の商品を購入する。
リユース (Reuse)	★ごみとしないで再利用する。 例1：家電製品などは修理して使う。 例2：詰め替え可能な商品を購入する。必要な人に譲る。
リサイクル (Recycle)	★ごみを資源として活用する。 例1：ごみの分別排出の徹底。 例2：エコマーク・グリーンマークなどの記載してある再生商品を使用する。 例3： <u>生ごみ処理器等</u> を購入する

生ごみ処理器の補助金交付制度をぜひご利用ください！！

辰野町の燃やせるごみの約50%は「生ごみ」です！

さらにそのうちの大部分は水分です。※生ごみの悪臭の主な原因は水分です

野菜の皮などの水分の少ないごみは、はじめから水に濡らさない、お茶がらやティーバッグなど、水分の多いものはしばって乾かして捨てる、ごみ出し前にたまった水分をぎゅっとしぼる、これだけでもかなり水が切れます。水切りをすると

- 悪臭が減ります
- ごみが軽くなり
ごみ出しが楽に！

さらに…
ごみが
減ると

ごみが少なくなれば、Co2の発生量やエネルギーの使用量、環境への負荷も減ります。ごみ処理施設の寿命も長くなり、ごみ処理費用も抑えられます。